

信州教師塾B 第1回 相手の話や自分の考えを見える化 ～グラフィックを使いながら～

信濃教育会との共催事業として「信州教師塾B」の第1回講座が、10月30日（月）、上伊那教育会館講堂に23名の受講者が集い行われました。



今回のテーマは「相手の話を絵や図等を使い見える化し、自分の考えを整理し、相手への伝達について学ぶグラフィックレコーディング講座（主体性を引き出すコミュニケーション）」講師には、グラフィックラブ 織部郁代様（b.ばれっと代表）と原知美様（伊那市役所）をお迎えしました。アイスブレイクの後、二人組でグラフィックを描き、見える化を体験しました。その後、グループでグラフィックの活用場面を話し合いました。はじめは緊張していた受

講者の方々も、織部先生と原先生の楽しいお話に、みるみる和やかな雰囲気になりました。その中で、絵に苦手意識のあった方もそうでない方もためらいなく表現し合えるようになり、和気あいあいとした研修になりました。

次回は、11月21日（火）「コミュニケーション力」をテーマに開催します。多くの先生方にご参加いただけますようお願い申し上げます。（申し込みの詳細はケルンにてご確認ください）

《受講者の感想》

グラフィックレコーディングというものを初めて聞き、今回参加させていただきました。絵を描くことがとにかく苦手で、絵で表すなんて大変そう……と思っていましたが、表情が5×5×4を覚えるだけで自分が表現できて、とても楽しく、あっ絵の方が伝わりやすいし表現できるんだと思えました。また、絵を描くだけがグラフィックレコーディングなわけではなく、言葉や吹き出し、枠で囲うなど、見える化するというのが、グラフィックレコーディングなんだと分かりました。

とても楽しく学ぶことができました。元々授業で使ってみたくて学びに来たので、明日から国語の中でやってみようと思います。そして、人と人とのコミュニケーションを円滑にするために、自分の思いを大切にするために、グラフィックレコーディングが大切であると学びました。プライベートでも学校でも使いこなしていきたいと思います。

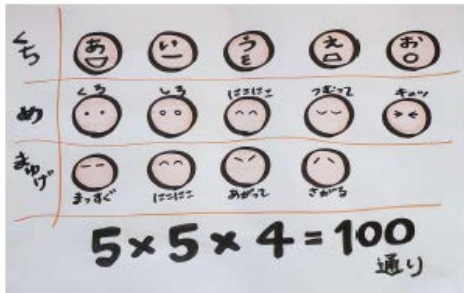
私は、本日の研修を受講し、アイスブレイクで使えるのではないかと考えました。とてもあたたかい雰囲気の中で、とても楽しみながら参加することができました。児童と初めて会った場面や自己紹介の場面で活用していきたいと思いました。

《研修の様子》



《当日の資料 抜粋》

1. アイスブレイク
～描いてみる！！（表情編）～



～なぜ表情を描くのか？～

- 感情やニュアンスを見える化
同じ言葉でも...



☆活用の場面

・ひとり（自分）

自分の考え・気持ちを整理することができます。
メモ、受講する研修会の記録など、
文字だけよりも記憶に残ります。



・ふたり（生徒、先生、保護者などと）

相談に乗る時、打ち合わせ、計画を立てる時に使えます。
相手に伝える、言いづらいこと、聞きづらいことも伝えやすくなります。
お互いの整理にも使うことができます。



・3人以上

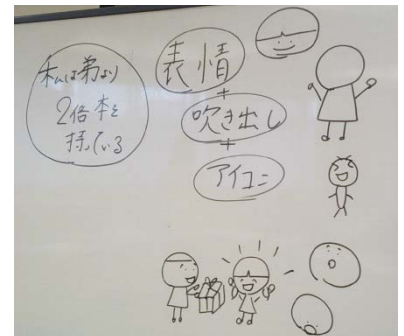
打ち合わせ、会議などで使うことにより、全体を見渡すことができ、
認識を合わせられることで、自分と考えの違いを発見しやすくなります。
お互いの理解を深めるための、共通言語として働きます。
参加できなかった人にも、写真を撮って送ることで短時間で全体像
を伝えることができます。



～描いてみる！（感情編）～



＜当日のグラフィック＞



＜講師の先生からご紹介いただいた本＞

